

众曰

ХиѣиѣиХи
ЗѣѣХ

東島通商語

この辞典の使い方

1. 見出し語

まえがきで提示した「日本机戦連盟が送り出してきた全てを読む」という観点に基づき、親見出しとして 830 語程度を選定するとともに、子見出しも 120 個余り掲載した。

2. 分類と配列

日本語話者にとっての便宜を最大限図るために、基本的に仮名転写の五十音順で配列した。ただし、ㇿで始まる語・0で始まる語に関しては、例外的にそれぞれヤ行・ワ行の位置に配置し、頭文字に応じて用いるべき爪見出しが定まるようにした。その際には「イエ」ㇼは「ユ」と「ヨ」の間に、「ウィ」0ㇼ・「ウェ」0ㇼ・「ウォ」0ㇼは「ワ」より後ろに配置した。

3. 品詞

品詞分類は、цэ зпцэни енцц хуѳудуху ззезх зупп збнб зупп еззбюиу およびその和訳「東島通商語入門」を基盤とし、名詞・動詞・特殊動詞・形容詞・前置助動詞・後置助動詞・前置詞・間投詞・数詞・文接続詞・名詞接続詞・特殊接続詞の 12 品詞を認定した。動詞の中でも、пнで終わり目的語を取るものには「他動詞」と表示した。名詞の後ろについて名詞を作る辞は、「名詞接尾辞」と表示した。

4. 語義と訳語

語義には、先頭に品詞を記した。品詞が同一であっても、語義や用法が大きく異なる場合については行を分けた。